

千葉県健康福祉部
障害者福祉事業課
課長 岡田 慎太郎 様

すべての知的障害者の福祉向上を図り、
その豊かな生活と権利を護ることに關する

要 望 書

平成29年12月8日

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会
(略称 千葉知施連)

会 長 奥澤 時宗



289-3186 匝瑳市川辺6166

TEL 047-67-5100

(社福 野栄福祉会 のさか学園保護者会内)

日頃より、当連合会に格別のご理解とご指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年9月貴課岡田課長、吉武副課長、板橋班長の方々と忌憚のない懇談会を開催させていただきましたが、この懇談会を踏まえ、私どもが抱えている問題について下記5項目を要望致します。

記

1. 入所施設の新設及び定員増加を要望します

現在当県の入所待機者は700名以上おります。さらに現在在宅・通所施設利用者の親・家族の高齢化による介護困難や将来への不安による入所希望、一時扱いの短期入所者の長期入所熱望、グループホーム入居者の高齢化・重度化による入所施設の必要など、現行の入所施設の新設停止、定員削減の方針では、今後著増する入所施設必要者に対応できなくなるのではないのでしょうか。

われわれは、現在の入所利用者削減方針を変更され、入所施設の新設や現施設の定員増加を要望致します。

2. 入所施設の更なる充実を要望します

築後 30 年以上経過する施設の建て替え、耐震化や入所者の高齢化によるバリアフリー化が急がれます。国、県の補助により、施設整備の充実ができるよう要望致します。

また、障害福祉サービスの報酬が日中に比較して夜間の方が低い現状の改善などを要望致します。私どもの上部団体・全施連から厚生労働省報酬改定委員会へ、24 時間切れ目のないサービスを行うため「別紙」報酬加算の意見書を提出しております。

3. 袖ヶ浦福祉センターの改革について県の強力な指導、支援を要望します

第三者委員会の中間報告に基づき支援体制の向上促進を要望致します。定員の削減については時間をかけて推移を見守りたいと考えます。現状の推移では計画の未達が指摘されておりますとともに、利用者への対応が不十分とされています。二度と悲惨な事件が起きることは許されず、県の強力な指導と支援を要望致します。

4. 福祉専門職員の確保対策を要望します

当県の福祉施設では職員確保に大変苦勞しています。職員確保のための支援をお願い致します。合わせて強度行動障害専門職員の育成にも引き続きご努力をお願い致します。

5. すべての心身障害者に医療費助成を要望します

重度心身障害者（児）医療費助成については現在身体障害者手帳 1 級又は 2 級、療育手帳①、A-1、A-2 を有する者が対象になっておりますが、中軽度者をも含めるようお願い致します。

※ 添付資料について

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会（全施連）は私ども千葉知施連の上部団体で、2 項の別紙報酬加算の意見書を提出しております。

なお、本年度全施連全国大会決議文を添付致します。上記要望の各項目については一部重複しておりますが、よろしくご検討をお願い致します。

以上